
運命のお相手？

未来予想図

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

運命のお相手？

【Nコード】

N1017E

【作者名】

未来予想図

【あらすじ】

大富豪のお嬢様、月島杏は大の男嫌い＆最強に強い女。そしてある日、なぜか杏は誰か5人を婚約者として受け入れなければならぬという風になってしまった。杏は誰を選ぶのか？そして誰と結ばれるのか。まあ期待して読んでください。

婚約者???

私は正直、恋愛なんて興味がなかった。

皆が話してても恋愛のよさが全然分からなかった。

そんなとき、あなたたちに会ったんだよ。最初ははっきり言うと嫌な存在だったけど皆いい人でした。そしてあなたたちは私の心を操り私はいつも振り回されてしまいました。

でも私はあなたたちに大切な事を教わったよ。

恋愛の辛さ、切なさ、悲しさを感じることが出来ました。

ありがとう。大好きだったよ…

中学1年生、春

私は月島杏。晴れて中学1年生となりました。恋愛なんて興味のなただとお金持ちで頭のいい、ただそれだけの女の子でした。私は中学受験で見事第一志望校の晴羅学園に合格しました。今日は入学式です。

『じゃあいつてきまゝす』

『いつてらっしゃい。』

お母さんの元気な声を聞いて私は家をでました。

晴羅学園は共学ですがあつとつてきに男子のほうが多いんですよ。そして晴羅学園をしきってる5人組がいるそうで…

どんな人がいるかな?と期待しながら晴羅学園に向かいました。

『大きいですね』

私の第一声はこれ。とにかく大きくて驚きました。
まあ私の家よりは小さいですけど……

私の家は大富豪でございます。

父が資産家で母が宝石店の社長というなんと素敵な……いや、
まあこんなことはおいといて。。

『入学式は……どこでやるんでしょう？』

『分かりませんね。っていうか二人して遅刻？』

『そうですね、ってえっ？』

『はじめまして。月島杏さん。僕は晴羅亮と言います。』

『あの……私の名前なんで……？』

『もう忘れたの？杏ちゃん。』

『えっ……？もしかして亮君？』

『そうだよ。久しぶりだね。杏ちゃん。』

『そうですね。』

亮君の変わりように驚きました。
すらりとしていて頭のよさそうな顔立ち。
一瞬見とれそうなルックス。

『ここの中学校ですか？』

『もちろん。一年生だよ。それにここの中学、俺の親父が校長やっ
てるし。代々ね。』

『あつ、そうなの？それはすごいですね。』

『ありがとう。って訳でこれからよろしくね。』

そういつて亮君は私を抱きしめた。

一瞬ビックリした。

『ちょっとやめてください』

『杏ちゃん、大好きだよ。』

『冗談はやめてください。』

『真面目に言っています。』

『えっ、？冗談なのではないのですか？』

『冗談でこんなこと言うわけないでしょう。』

『すみません。』

『まあ入学式は無理ですね。校長室でも行きますか。』

『そうですね。』

そういつて私達は歩き出した。
正直、私は苦手なタイプだと思った。
あまり関わりたくないとも思った。

『お父様。』

『亮か、入れ。』

『はい。失礼します。』

『その人は誰だね？』

『はい、私の幼なじみの月島杏さんです。』

『そうなのか。』

『はい。』

『久しぶりですね。』

『まあ素敵なお嬢さんになったな。』

『ありがとうございます。』

『これからも亮のこと頼むな。』

『えっ？』

って・・・という些細な理由でお父さん以外の男の人は大嫌いにな
ってしまっただのです。

その5人は私の力にビックリしたのかもしれませんが。
私は空手も柔道も剣道もやっているので（笑）

『なんだよ、お姫様。』

『俺等はお姫様の婚約者候補だぞ！！！！！！』

『いつから決まっただのですか？』

『お姫様が生まれてすぐ。』

『そんなの知りません！！！！！！！！！！』

『お姫様は俺等5人のなかから誰か1人、選ぶんです。』

『そんなあゝ・・・』

男嫌いの私、月島杏はいつ運命の出会いをするのでしょうか・・・
？
そして誰かを選ばなきゃいけない・・・どうしたらいいのでしょうか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1017e/>

運命のお相手？

2011年1月16日06時22分発行